

第2期

愛知県

人ロビジョン

まち・ひと

しごと創生

総合戦略

 愛知県

策定の目的

日本の人口が減少傾向にある中で、東京圏への人口集中は依然として続いています。愛知県では、2015年10月に第1期「人口ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、幅広い施策に総合的に取り組んできました。その結果、人口は想定を上回って推移し、県内総生産は約40兆円で全国第2位となっています。こうした状況を踏まえて、第2期「人口ビジョン」を新たに推計するとともに、「日本一元気ですべての人が輝く、住みやすい愛知」を目指して、東京一極集中にストップをかけ、日本の発展をリードしていけるよう、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（計画期間：2020～2024年度）を策定しました。

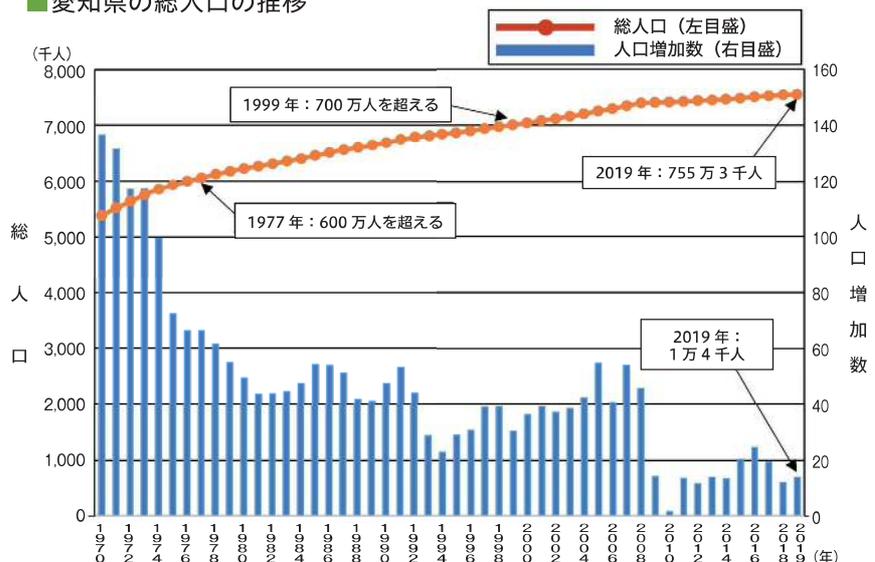
人口ビジョン

1 愛知県人口の現状

愛知県の人口動向

愛知県の総人口は、2019年10月1日現在で755万3千人となっており、日本の人口が2008年をピークに減少を続ける中であって、現在も増加が続いています。

■愛知県の総人口の推移



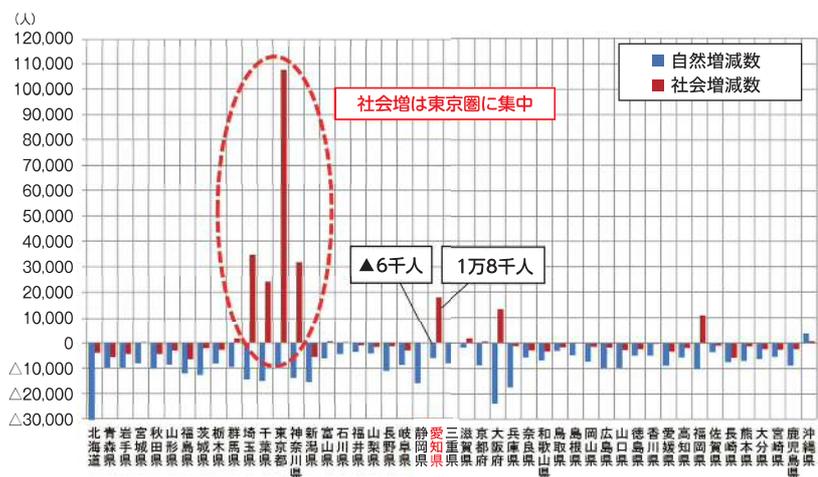
出典：愛知県「あいちの人口」※総人口は各年10月1日現在、人口増加数は前年10月～当年9月

都道府県別人口の増減

2017年10月から2018年9月までの1年間の東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）の社会増は19万人を超え、社会増は東京圏に集中しています。

愛知県の社会増減数は、良好な経済環境の中で増加を続けており、自然減を社会増が補うかたちで人口増加を維持しています。

■都道府県別人口の増減（自然増減・社会増減）（2017年10月～2018年9月）



出典：総務省「人口推計」（2018年）

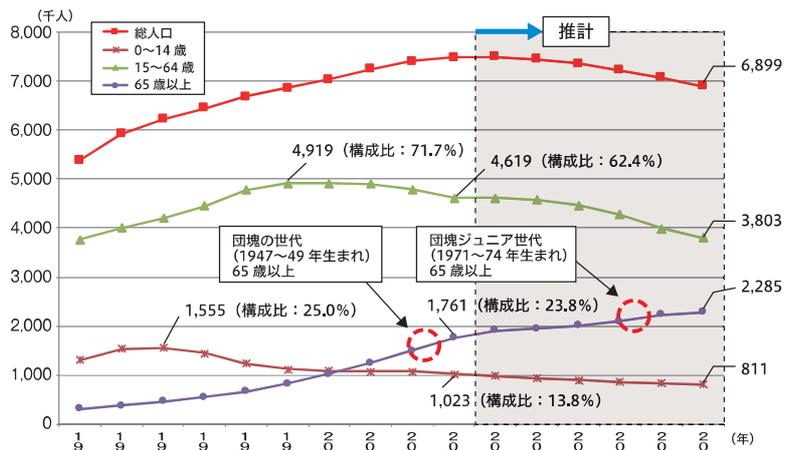
人口推移と将来人口推計（年齢3区分）

年少人口（0～14歳）は、1980年をピークに減少を続け、2015年の構成比はピーク時の半分程度まで減少しています。

生産年齢人口（15～64歳）は、1995年をピークに減少が続き、2045年には、ピーク時と比べると100万人以上減少すると推計されています。

老年人口（65歳以上）は一貫して増加が続いています。今後、「団塊ジュニア世代」が65歳以上を迎え、老年人口のピークは2045年以降と推計されています。

■愛知県の人口の推移と将来人口推計（年齢3区分）



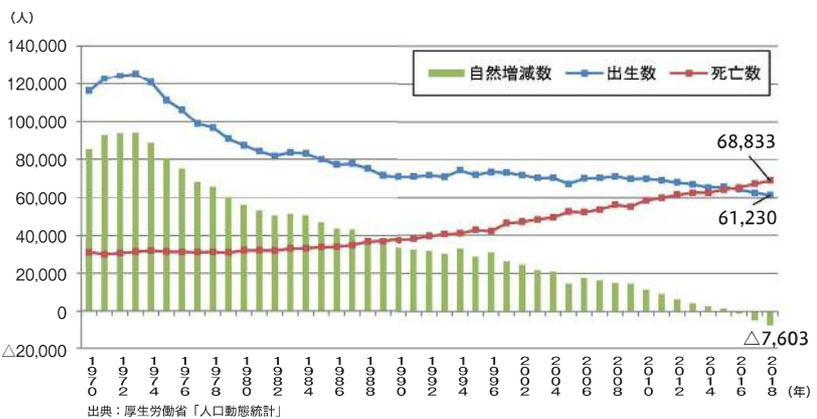
出典：2015年までは総務省「国勢調査」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」をもとに作成

自然増減

愛知県の出生数は緩やかな減少傾向にあります。死亡数は高齢化の影響により大きく増加しており、2018年には、約7千人の自然減となっています。

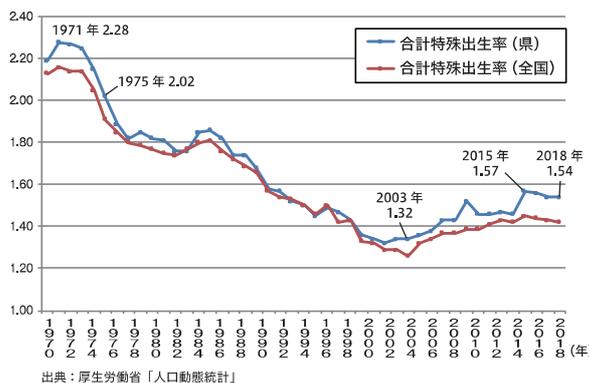
合計特殊出生率は足踏み状態にあります。2018年は1.54と、全国平均（1.42）を上回り、都道府県別では第18位となっています。

■自然増減数の推移



出典：厚生労働省「人口動態統計」

■合計特殊出生率の推移



出典：厚生労働省「人口動態統計」

※都道府県別合計特殊出生率（2018年）

順位	都道府県名	合計特殊出生率
1	沖縄	1.89
2	島根	1.74
3	宮崎	1.72
4	鹿児島	1.70
5	熊本	1.69
6	長崎	1.68
7	福井	1.67
8	佐賀	1.64
9	鳥取	1.61
10	香川	1.61

18 愛知 1.54

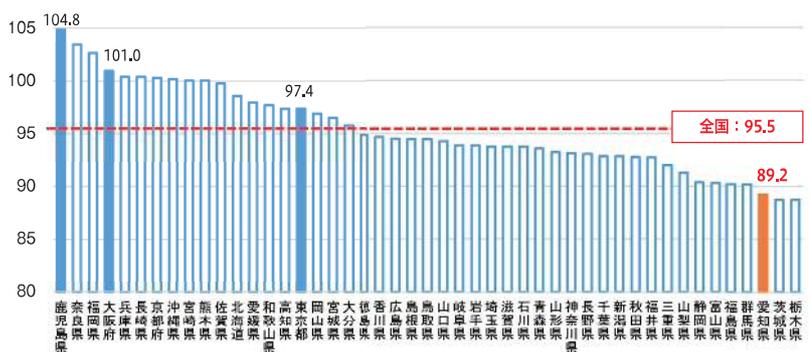
38	奈良	1.37
39	大阪	1.35
40	埼玉	1.34
41	千葉	1.34
42	秋田	1.33
43	神奈川	1.33
44	宮城	1.30
45	京都	1.29
46	北海道	1.27
47	東京	1.20

全国	1.42
----	------

男女比率

2019年の20～39歳の男女比率（男性100人に対する同世代の女性数の割合）を都道府県別に見ると、愛知県は全国で3番目に女性の割合が低くなっています。

■都道府県別男女比率（20～39歳）

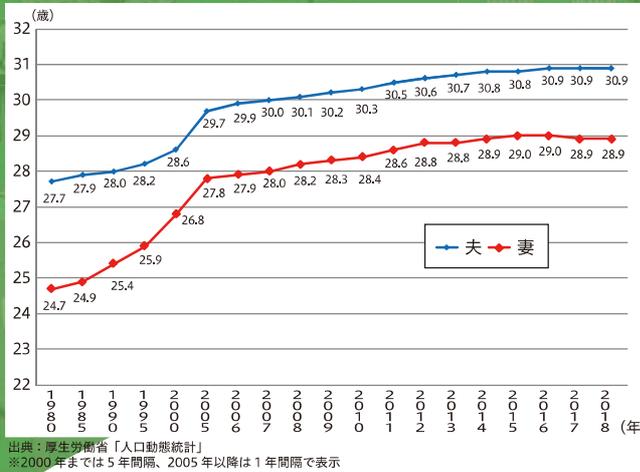


出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」をもとに作成 ※2019年1月1日現在、日本人のみ

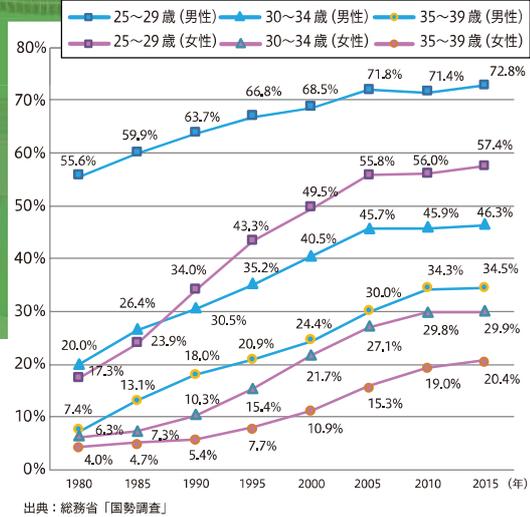
初婚年齢と未婚率の推移

愛知県の平均初婚年齢は、男女ともに長期的な上昇傾向にあり、晩婚化が進行しています。
未婚率も上昇傾向が続いており、2015年には、30歳代前半の男性の約2人に1人、女性の約3人に1人が独身となっています。

■ 愛知県の平均初婚年齢の推移



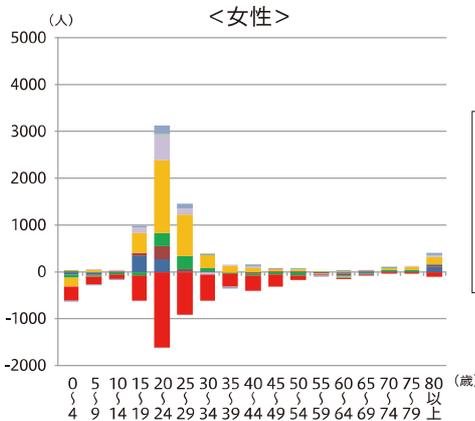
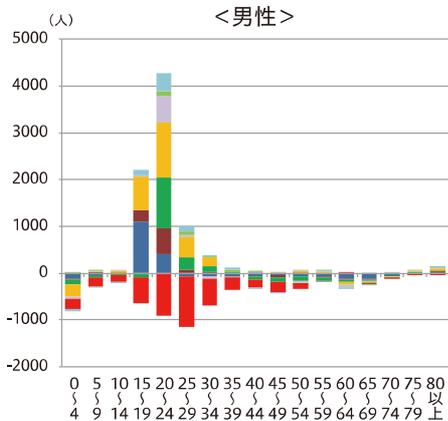
■ 愛知県の未婚率の推移



社会増減

愛知県の男女別・年齢階級別の人口移動を見ると、男性、女性とも、15~29歳で東海、関西、九州、沖縄などを中心に転入超過となっているものの、東京圏に対しては転出超過数が大きくなっています。女性の東京圏への転出超過数は男性よりも大きく、特に20~24歳において顕著となっています。

■ 愛知県の男女別・年齢階級別の人口移動状況 (2019年)



出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

外国人の動向

外国人人口は、リーマンショックによる経済環境の悪化により、一旦は減少に転じましたが、2013年頃から再び増加に転じて以降、増加を続けています。

2019年では、約27万3千人と東京都に次いで全国で2番目に多く、愛知県の総人口の3.61%を占めています。

出典：外国人人口は、法務省「在留外国人統計」(2011年以前は法務省「登録外国人統計」)
※2012年以降はグラフの横軸の間隔が2011年以前と異なる

■ 愛知県の国籍別の外国人人口と全人口に占める割合の推移

